



伸びる学校になるためには……まず整理整頓です！！

先日、靴を他の人の分まで、きちんと並べている2人の3年生を偶然見ました。素晴らしいことです。嬉しくなりました。これまで、多くの小中学校、高等学校を見てきましたが、模範となる学校に特徴的なことは、整理・整頓が行き届いていることです。靴箱は、手前のラインできちんとそろっています。かかと部分が出ていたり、斜めに入れたりしません。次にトイレのスリッパ。次の人が履きやすいようにそろえられているか。学力が高く、生活習慣が確立されている学校はできています。そして、傘立て。先日、ある会社に行つてびっくりしました。傘の柄が同じ方向に向いており、持って帰りやすいように各人が気配りをしている様子がうかがえました。整理整頓の習慣は、その人を思慮深くすると言われてしています。学校や家庭で、整理整頓ができる子どもを育成していきましょう。



めだかの教室(6/24 水) がありました。



まず全員に細かな説明があり



グループで協働し



個人でじっくりと観察しました。

5年生を対象にした「めだか教室」の様子です。例年のようにゲストティーチャーに内田雅浩さんをお招きし、理科「生命のつながり」の学習をおこないました。様々な種類のメダカを観察し、孵化直前の卵を顕微鏡で観ることができました。メダカは野生のメダカでした。

学校がすっきりしました！



懸案でありました裏門の「楠木」と「欅の木」、中庭の記念植樹数本を剪定しました。裏門前のお家の方々にはこの数年、枯葉でかなりの迷惑がかかっていたと考えています。学校には何も言わずに処理をしてきていました。大変申し訳なく思っています。ありがとうございました。

<小佐井小の今昔から>

今回は日中戦争に突き進んだきっかけとなった満州事変(昭和6年)の後の様子を学校日誌で調べてみました。昭和7年の小佐井尋常高等小学校です。現在、先生は「教諭」という呼び名をしますが、当時は「訓導」と呼ばれていました。教諭を導く人と言う意味でしょうか。「日直」制があり、当番の先生は学校に泊まっていたようです。児童会もしっかりとあり4/12に役員が決定しています。お見知り遠足は大在の浜に行っています。4月は教職員全員で八柱神社に参拝をしています。そして神社の掃除もしています。さすがです。敬老会には児童が参加し、芸を披露しています。5月に茶摘みをしており学校が茶畑を所有していたようです。6月・11月は農繁休業が1週間ずつあり、10/7に大運動会でした。1/9の始業式には村長さんも来賓として出席をしています。訓示をしたのでしょうか。

まだまだ油断大敵です。～感染症対策から～

世界の感染者が1000万人を突破し、東京でもじわりと感染者が増えてきています。県をまたいで移動自粛も解除され、1000人規模のコンサートやスポーツも7月から再開です。一方で、小学生や教職員が感染し、臨時休業に再び追い込まれた学校も出てきました。第2波は必ず来ると専門家は警告を發しています。学校では、マスク着用、手洗い励行を促し、3密を可能な範囲で回避しています。使用したボールや教室の机・椅子を毎日すべて消毒しています。ご家庭でもご指導いただき、ありがとうございます。怖いのは油断していつのまにか3密を忘れてしまうことです。マスク生活はとても苦しいですが、上手にみんなで乗り切っていきましょう。